



2021年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月12日

東

上場会社名 株式会社クリエイティブSDホールディングス 上場取引所
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎哲也 (TEL) 045 (914) 8241
 定時株主総会開催予定日 2021年8月27日 配当支払開始予定日 2021年8月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年8月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績(2020年6月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	338,476	5.9	18,629	4.7	19,061	4.7	12,376	1.0
2020年5月期	319,588	11.6	17,793	24.9	18,210	24.5	12,254	26.1

(注) 包括利益 2021年5月期 12,516百万円(2.4%) 2020年5月期 12,226百万円(25.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	195.78	—	13.5	12.0	5.5
2020年5月期	193.85	—	15.0	12.7	5.6

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 一百万円 2020年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	163,824	96,638	59.0	1,528.64
2020年5月期	153,423	86,776	56.6	1,372.65

(参考) 自己資本 2021年5月期 96,638百万円 2020年5月期 86,776百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	11,572	△10,424	△2,655	39,282
2020年5月期	22,765	△10,507	△3,053	40,788

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	19.00	—	21.00	40.00	2,528	20.6	3.1
2021年5月期	—	21.00	—	23.00	44.00	2,781	22.5	3.0
2022年5月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00		22.5	

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日~2022年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	174,170	3.3	8,790	△9.2	9,000	△9.2	6,090	△9.5	96.33
通期	352,600	4.2	19,380	4.0	19,800	3.9	12,770	3.2	202.00

(注) 上記業績予想は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しております。
 対前期(対前年同四半期)増減率については組替前の2021年5月期の連結業績との比較を記載しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期	66,819,342株	2020年5月期	66,819,342株
② 期末自己株式数	2021年5月期	3,600,728株	2020年5月期	3,600,686株
③ 期中平均株式数	2021年5月期	63,218,641株	2020年5月期	63,218,674株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年5月期の個別業績（2020年6月1日～2021年5月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	7,917	21.6	7,344	23.5	7,346	26.2	6,812	26.3
2020年5月期	6,508	6.0	5,947	5.4	5,820	3.1	5,395	3.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年5月期	107.76		—					
2020年5月期	85.34		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年5月期	46,141		45,951		99.6		726.86	
2020年5月期	41,972		41,793		99.6		661.10	

(参考) 自己資本 2021年5月期 45,951百万円 2020年5月期 41,793百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 役員の異動	14
(2) その他	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年6月1日～2021年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大が企業収益や雇用環境に悪影響を及ぼし、緊急事態宣言発令による自粛ムードの広がり、経済活動の停滞などにより厳しい状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争の激化に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが強まっており、厳しい環境が続いております。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染リスクを最小限に抑えながらの経営が続いております。

このような状況の中、当社グループは引き続き「生活・予防・医療・介護」の各領域において地域に貢献する総合ヘルスケアサポートを推進してまいりました。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マスク・消毒液・ハンドソープなどの感染予防商品や、食料品・日用品等の巣ごもり対策商品の需要が増加した一方で、外出自粛やテレワークの推進、マスクの常時着用といったライフスタイルの変化に伴うメイク化粧品需要の低迷、マスクや手洗い、感染予防対策の習慣化による総合感冒薬の需要減少、調剤薬局においては医療機関受診の手控えや長期処方による処方箋応需枚数の減少が見られました。

このような環境の中、当社グループはお客様・患者様や従業員の安心・安全を最優先に考え、営業時間の短縮や、集客の波を作る販売促進策を自粛する一方で、いつご来店いただいてもお求めやすい価格で提供するEDLP(エブリデイ・ロープライス)を推進し、地域のライフライン、社会インフラであるドラッグストアとしての使命を果たすべく、各種感染拡大防止策や衛生管理を徹底しつつ、可能な限り営業を継続してまいりました。

また、自社電子マネー機能付きポイントカード「おさいふHippo」の利用促進や、調剤薬局内における待ち時間短縮のため「処方せん送信機能付き電子お薬手帳アプリ」の利用促進等、コロナ禍における新常態への対応として非接触や三密回避に取り組む一方で、お客様とのふれあいを大切にす経営理念に即した接遇強化を推進し、地域のお客様にとって安心・安全で親切的な店舗及び薬局づくりに努めてまいりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、39店舗の出店を行いました。一方でスクラップ&ビルドにより1店舗、契約期間満了により1店舗、経営効率化の観点から3店舗の閉鎖を行いました。

調剤薬局の新規出店につきましては、調剤専門薬局を1店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局を33店舗開局いたしました。一方で契約期間満了より1店舗、経営効率化の観点から1店舗の計2店舗の閉鎖を行いました。

<介護事業>

有料老人ホームにつきましては、ペットと一緒に暮らせるお部屋、美味しい食事や多彩なイベントを特色とする介護付有料老人ホーム2施設を運営しております。

当連結会計年度におきましては、ご入居者様の安全を第一に考え新型コロナウイルスの感染防止に注力しつつ、入居率の向上を図ってまいりました。

デイサービスにつきましては、高齢者の方が長くご自宅で暮らすための生活機能訓練を特色とするデイサービスセンターを中心に運営しております。

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルスの感染防止に注力しつつ、稼働率の回復を図ってまいりました。また、収益性向上のため1施設の定員拡大を行いました。

以上により、当連結会計年度末の当社グループの店舗数はドラッグストア659店舗、調剤薬局では調剤専門薬局36店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局226店舗の合計262店舗となり、スーパーマーケット事業では5店舗、介護事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービスセンター39施設となりました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高338,476百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は18,629百万円(前年同期比4.7%増)、経常利益は19,061百万円(前年同期比4.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は12,376百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は163,824百万円となり、前連結会計年度末に比べて10,401百万円増加いたしました。主な要因は、売掛金が1,160百万円、商品が3,524百万円、新店及び出店準備物件の増加等に伴い固定資産が6,479百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は67,186百万円となり、前連結会計年度末に比べて539百万円増加いたしました。主な要因は、ポイント引当金が149百万円、前受金が944百万円、退職給付に係る負債が195百万円、長期資産除去債務が186百万円増加、買掛金が444百万円、未払法人税等が490百万円減少したことなどによるものです。

純資産は96,638百万円となり、前連結会計年度末に比べて9,861百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払により2,655百万円減少、親会社株主に帰属する当期純利益12,376百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は39,282百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,506百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は得られた資金は11,572百万円（前年同期比11,193百万円の収入減）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益17,904百万円、減価償却費3,822百万円、法人税等の還付685百万円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加1,160百万円、たな卸資産の増加3,529百万円及び法人税等の支払額が7,292百万円等の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10,424百万円（前年同期比83百万円の支出減）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出7,401百万円、貸付けによる支出1,201百万円、出店仮勘定による支出1,490百万円等の結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,655百万円（前年同期比397百万円の支出減）となりました。これは配当金の支払額2,655百万円等の結果であります。

(資本の財源及び資金の流動性)

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、主に営業活動により得られた資金を新規出店に係る設備投資に充当しております。

(4) 今後の見通し

ドラッグストア業界におきましても、業界の垣根を越えたより一層の競争の激化や業界再編の動きの活発化が考えられ、厳しい経営環境が続くと想定されます。

このような状況の中で、当社グループは地域での総合ヘルスケアサポートに根ざした強固なドミナント形成によるエリア内でのシェアアップを引き続き推進してまいります。

超高齢社会の中で更にニーズの高まる、調剤併設型ドラッグストアを中心とした出店を継続するとともに、調剤薬局の併設加速化や品揃えの見直しなど、既存店の改装に注力してまいります。また、コロナ禍におけるライフスタイルの変化や購買行動の変化に対応するべく、品揃えを拡充しワンストップ&ショートタイムショッピングを実現する便利な店舗・サービスを目指して参ります。

さらに、ポイントシステムの刷新、公式スマホアプリの活用によるOne to Oneマーケティングの実現や、オンライン服薬指導への対応を進めるなどデジタルトランスフォーメーションの推進にも積極的に取り組む一方で、有店舗の強みであり、創業以来注力してきた接遇力にさらに磨きをかけ、地域のお客様にとって安心・安全で親切な店舗及び薬局づくりに努めてまいります。

介護事業につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行いつつ、有料老人ホームでは、美味しい食事の提供、後方業務の効率化による対人サービスの充実などにより、またデイサービス事業では、機能訓練やレクレーションの質の充実を図り、顧客満足度の向上を目指してまいります。

以上により、2022年5月期の業績につきましては下記のとおり予想しております。

2022年5月期の業績予想（2021年6月1日～2022年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通期	352,600	19,380	19,800	12,770

(参考) 予想1株当たり当期純利益 202円00銭 予想期中平均株式数 63,218,614株

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の実績は、様々な要素によりこれら業績予想とは異なることがあります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,788	39,282
売掛金	8,521	9,682
商品	29,931	33,456
貯蔵品	38	43
その他	7,881	8,620
流動資産合計	87,162	91,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,018	39,385
減価償却累計額	△16,843	△18,486
建物及び構築物 (純額)	19,174	20,898
土地	13,170	15,272
その他	21,659	23,318
減価償却累計額	△17,341	△18,814
その他 (純額)	4,318	4,504
有形固定資産合計	36,664	40,675
無形固定資産		
のれん	832	712
その他	428	885
無形固定資産合計	1,261	1,598
投資その他の資産		
投資有価証券	141	151
長期貸付金	9,088	9,776
繰延税金資産	5,219	5,595
敷金及び保証金	10,190	10,867
その他	3,729	4,120
貸倒引当金	△33	△45
投資その他の資産合計	28,336	30,466
固定資産合計	66,261	72,740
資産合計	153,423	163,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,144	41,699
未払法人税等	3,787	3,297
賞与引当金	301	328
役員賞与引当金	115	128
ポイント引当金	3,446	3,596
資産除去債務	24	19
店舗閉鎖損失引当金	13	—
その他	9,763	10,700
流動負債合計	59,595	59,769
固定負債		
退職給付に係る負債	2,512	2,708
資産除去債務	3,051	3,238
転貸損失引当金	37	32
その他	1,450	1,438
固定負債合計	7,050	7,416
負債合計	66,646	67,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	89,392	99,114
自己株式	△4,393	△4,393
株主資本合計	86,933	96,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	23
退職給付に係る調整累計額	△174	△40
その他の包括利益累計額合計	△156	△17
純資産合計	86,776	96,638
負債純資産合計	153,423	163,824

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	319,588	338,476
売上原価	230,602	245,110
売上総利益	88,986	93,365
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	3,446	3,596
給料及び手当	27,967	29,725
賞与引当金繰入額	266	298
役員賞与引当金繰入額	115	128
退職給付費用	431	460
減価償却費	3,521	3,655
地代家賃	14,189	14,986
その他	21,254	21,884
販売費及び一般管理費合計	71,192	74,735
営業利益	17,793	18,629
営業外収益		
受取利息	105	97
受取配当金	0	0
固定資産受贈益	95	87
受取賃貸料	203	301
その他	159	144
営業外収益合計	564	631
営業外費用		
支払利息	1	0
貸倒引当金繰入額	0	11
支払補償費	2	4
賃貸費用	134	173
その他	8	8
営業外費用合計	148	199
経常利益	18,210	19,061
特別利益		
補助金収入	12	13
特別利益合計	12	13
特別損失		
減損損失	727	1,152
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13	—
固定資産圧縮損	12	13
その他	5	4
特別損失合計	758	1,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
税金等調整前当期純利益	17,463	17,904
法人税、住民税及び事業税	5,952	5,932
法人税等調整額	△744	△404
法人税等合計	5,208	5,527
当期純利益	12,254	12,376
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	12,254	12,376

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益	12,254	12,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	6
退職給付に係る調整額	△33	133
その他の包括利益合計	△28	139
包括利益	12,226	12,516
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,226	12,516
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	934	79,476	△4,393	77,018
当期変動額					
剰余金の配当			△2,339		△2,339
親会社株主に帰属する当期純利益			12,254		12,254
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	9,915	△0	9,915
当期末残高	1,000	934	89,392	△4,393	86,933

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	11	△140	△128	76,889
当期変動額				
剰余金の配当				△2,339
親会社株主に帰属する当期純利益				12,254
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5	△33	△28	△28
当期変動額合計	5	△33	△28	9,887
当期末残高	17	△174	△156	86,776

当連結会計年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	934	89,392	△4,393	86,933
当期変動額					
剰余金の配当			△2,655		△2,655
親会社株主に帰属する当期純利益			12,376		12,376
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	9,721	△0	9,721
当期末残高	1,000	934	99,114	△4,393	96,655

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	17	△174	△156	86,776
当期変動額				
剰余金の配当				△2,655
親会社株主に帰属する当期純利益				12,376
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6	133	139	139
当期変動額合計	6	133	139	9,861
当期末残高	23	△40	△17	96,638

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	17,463	17,904
減価償却費	3,655	3,822
減損損失	727	1,152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	26
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	12
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	268	149
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	13	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	329	333
受取利息及び受取配当金	△106	△98
支払利息	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,034	△1,160
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,002	△3,529
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,332	△444
前受金の増減額 (△は減少)	1,085	1,028
その他	1,852	△1,027
小計	27,627	18,177
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△5,508	△7,292
法人税等の還付額	643	685
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,765	11,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,227	△7,401
無形固定資産の取得による支出	△218	△579
長期貸付けによる支出	△786	△1,201
長期貸付金の回収による収入	944	972
投資有価証券の売却による収入	87	—
長期前払費用の取得による支出	△79	△75
建設協力金の回収による収入	0	—
敷金及び保証金の差入による支出	△127	△357
敷金及び保証金の回収による収入	117	98
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,134	—
出店仮勘定による支出	△1,543	△1,490
供託金の預入による支出	△569	△421
その他	29	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,507	△10,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△230	—
長期借入金の返済による支出	△495	—
配当金の支払額	△2,339	△2,655
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,053	△2,655
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,204	△1,506
現金及び現金同等物の期首残高	31,584	40,788
現金及び現金同等物の期末残高	40,788	39,282

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、現時点において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響については限定的であると考えられる一方、その影響が翌連結会計年度を通じ継続するものと仮定し、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)		当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	
1株当たり純資産額	1,372円65銭	1株当たり純資産額	1,528円64銭
1株当たり当期純利益金額	193円85銭	1株当たり当期純利益金額	195円78銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	12,254	12,376
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	12,254	12,376
期中平均株式数(株)	63,218,674	63,218,641

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 役員の異動

開示内容が定まった時点で開示いたします。

(2) その他

(仕入及び販売の状況)

①事業別品目別売上実績

当連結会計年度の売上実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	89,417	112.0
OTC	57,418	112.8
調剤薬局	31,999	110.5
化粧品	40,906	100.2
食料品	130,882	102.7
日用雑貨品	53,859	105.0
その他	16,848	99.9
小計	331,914	105.0
有料老人ホーム事業	722	105.0
デイサービス事業	1,393	101.3
スーパーマーケット事業	4,444	348.8
合計	338,476	105.9

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

②地区別売上実績

当連結会計年度における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)		当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	196,350	61.4	208,806	61.7
東京都	46,467	14.5	49,274	14.6
静岡県	39,217	12.3	39,616	11.7
千葉県	20,996	6.6	23,461	6.9
その他	16,556	5.2	17,315	5.1
合計	319,588	100.0	338,476	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③仕入実績

当連結会計年度における仕入実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	54,938	115.3
OTC	35,805	119.9
調剤薬局	19,132	107.6
化粧品	26,325	101.1
食料品	110,006	104.3
日用雑貨品	39,009	107.4
その他	12,981	98.7
小計	243,261	106.4
有料老人ホーム事業	—	—
デイサービス事業	—	—
スーパーマーケット事業	3,312	358.5
合計	246,573	107.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。